

# Interview

PROGRIT



**Money Forward**

「英語を使ってコミュニケーションを取ろうという  
マインドに変わった。」

– CSO 木村 友彦様

## 株式会社マネーフォワード

マネーフォワードホームカンパニー

CSO 木村 友彦 様

(2020年7月取材時の役職)

### 企業様情報

本社所在地：本社所在地：東京都港区芝浦3-1-21

msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F

設立：2012年5月



## #1 事業内容について教えてください。

法人向けの会計サービスを展開しているマネーフォワードBusinessや、マネーフォワードHomeという個人向けの家計簿アプリを中心とした事業があります。その他にも金融機関とのコラボレーションを担当しているマネーフォワードXや、法人向けに金融サービスを提供しているマネーフォワードFinanceの計4つの事業を展開しています。

## #2 その中で木村さんはどのようなことを担当されていますか？

マネーフォワードHomeで、家計簿アプリやメディア事業の戦略立案などを行っています。また、社長室で新規事業の開発を行っていたこともあります。

「伝えたいことを伝えられない」というのが一番大きな課題でした。

### #3 今回プログリットを利用しようと思った背景を教えてください

社長室で新規事業の開発を行っていたときに、ベトナムのハノイでベトナム人のエンジニアチームと共に取り組んでいました。その時のコミュニケーションが英語だったので、英語の必要性を感じたことがきっかけです。

当時の英語力は低く、画面を見ながらプロダクトのフィードバックを単語レベルで伝えるのはなんとかできたのですが、フリートークでのコミュニケーションが全くできませんでした。

ベトナムに行くのも英語に関する準備はほとんどできなかったのも、「伝えたいことを伝えられない」というのが一番大きな課題でした。



英語を使ってコミュニケーションを取ろうというマインドに変わった。

## #4 PROGRIT(プログリット)を実際受講されていかがでしたか？

毎日3時間を確保するのが大変でした。基本的には朝の仕事前と夜の仕事後にやっていました。ただ、週に1回の面談でコンサルタントの方とお話をさせていただき、成長している部分を見つけてもらうことがモチベーションにつながっていました。実際に、PROGRITを利用して**VERSANT(※1)**のスコアが9点アップしました。2ヶ月という短期間でしたが、プログリットを信じてやりきって本当に良かったです。

実際にベトナムのチームとのミーティングなどでは、こちらが英語を使ってコミュニケーションを取ろうとすると喜んでくれるので一番嬉しいですね。やっぱりこちら側から英語で歩み寄っていくことはプロジェクト全体を見ても重要だなと感じました。

※1 VERSANTは、仕事で使える実践的な英語力を測るテスト。従来のテストや検定試験と異なり、試験の実施と採点までが短時間で行えるのが特徴。英語を聞いてから英語で話すという、実際のシーンに沿った英語コミュニケーション能力を測ることができるため、PROGRITではビジネス英会話コースで導入し、生徒様の英語力の伸びを数値化しています。

英語ができるようになってきている実感を得られたのが印象に残っています。

## #5 PROGRITを受講されてで特に印象に残っていることはありますか？

受講の最初にディクテーション（英語を聞いて書き取りを行う）のテストをやったのですが、全然できなかつたんです。それが本当に悔しかったですね。そこから、シャドーイングを毎日繰り返しやっていて、1ヶ月後の面談のときにいきなり1分間スピーチのテストをやることになったんです。それが、自分が思っていたよりできるようになっていて、すごい嬉しかったですね。

また、英語ができるようになってきている実感を得られたのも印象に残っています。仕事で1日中ミーティングで埋まってしまうことも多く、毎日3時間の勉強時間を確保するのは大変でした。ただ、やっている時は大変でしたけど、受講が終わった今でも朝や通勤での英語の勉強を続けられているのは、習慣になったんだなと感じています。PROGRIT SHEET(※2)にもいまだに記録しています（笑）。管理シートがあると自分の勉強時間を確認できるので、継続しやすいなと感じていますね。

※2 PROGRIT SHEETはプログリット独自の勉強管理のツールです。毎日の勉強計画の確認や勉強時間の記録をするためのツールです。専属のコンサルタントも常にそのシートを確認し、フィードバックできるようになっているので、PROGRIT SHEETに英語学習のデータが管理されています。

## #6 今後の英語の活用についてお伺いできますでしょうか。

個人としては、会議などで不自由なく喋れるようになることですね。特に今オンラインでの会議が増えているので、対面とはまた違ったスキルが必要になるかなと思います。英語を使って、伝えたいことを相手に伝わるようにコミュニケーションをしていきたいなと思っています。

会社としては、今後外国籍の方の採用をより注力していきたいと考えております。特にエンジニアの領域で優秀な人を採用するためには、いろいろな国籍の方と共に仕事ができる環境や英語力などのスキルが必要になってきます。そのような環境を作ることが、会社の競争力にもなってくると思うので、今後も社員の英語学習の機会を増やしていければなと考えております。

# 企業様の導入、続々決定中！

会社全体の英語力を底上げしたい。海外で活躍できる社員を育てたい。  
プログリットは、そんな企業様の想いを短期間で実現いたします。  
英語学習コンサルティングという今までにない手法で、様々な業種の企業様から好評の声を頂戴しております。  
まずは弊社の営業担当より御社の英語導入の目的やご希望をお伺いさせていただきます。以下よりご連絡くださいませ。

## 【法人様担当 ご連絡先】

株式会社プログリット 法人営業第一部

TEL : 03-6381-7760 / E-mail : [corporate-sales@プログリット.co.jp](mailto:corporate-sales@プログリット.co.jp)

インターネットからは以下URLよりお問い合わせください。

<https://business.progrit.co.jp/>



## (参考) プログリット4つの導入メリット

社内英語教育における課題を  
最短3ヶ月で解決できる

英会話サービスを導入したが成果が出ない

海外赴任者や幹部候補の英語力を短期で上げたい

会社全体の英語に関するモチベーションが低く、  
英語学習に取り組んでいる社員が少ない

TOEICスコアが  
劇的に向上



「期待以上の効果があった」と  
感じる高いサービス



※ 卒業生満足度調査：5つ星中、平均4.4の満足を獲得

定量・定性のレポートニングによる  
受講状況・成果の可視化



# (参考) 導入企業様の一例



累計取引先法人数の推移

